

把持鉗子

(FG-40ST-1、FG-53SX-1)

【形状・構造及び原理等】

・ FG-53SX-1

構造・構成ユニット

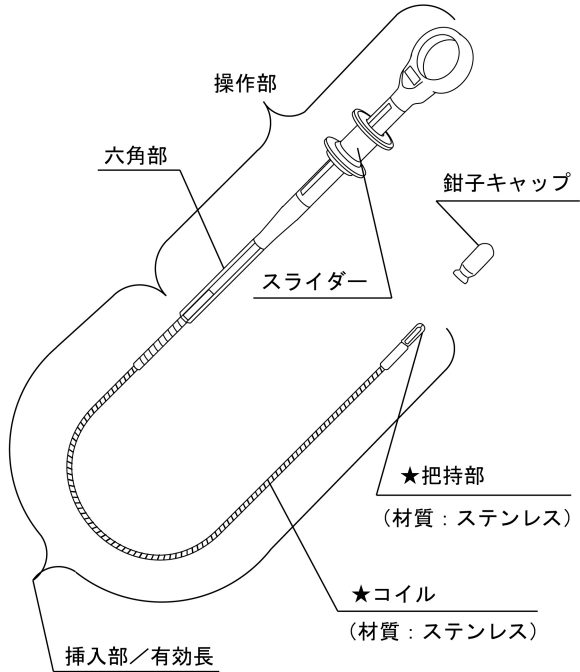
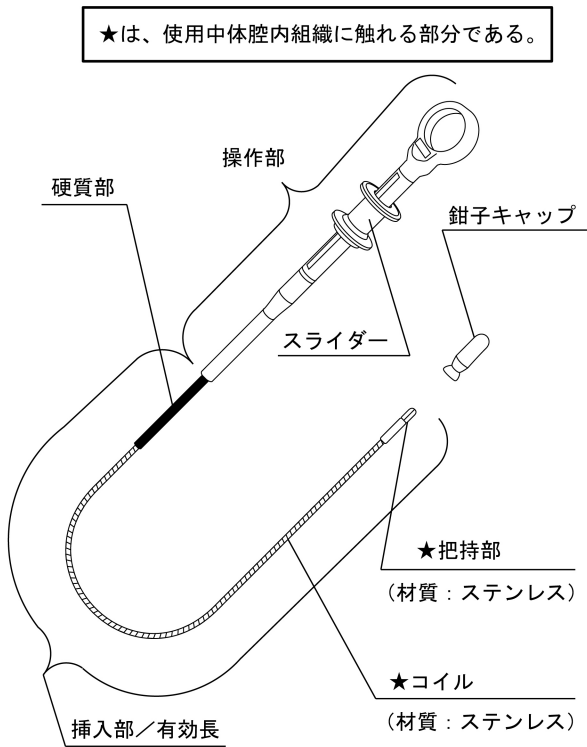
1.構成

本製品は操作部と挿入部から構成されており、以下の 2 種類がある。

- ・ FG-40ST-1
- ・ FG-53SX-1

2.各部の名称

- ・ FG-40ST-1



\*\*3.仕様

| モデル名      | FG-40ST-1 | FG-53SX-1 |
|-----------|-----------|-----------|
| 把持部の形状    | V 字型      | 鋭 V 字型    |
|           |           |           |
| 最大外径 (mm) | Φ1.85     | Φ1.8      |
| 有効長 (mm)  | 500       | 700       |
| 開き幅 (mm)  | 3.0       | 8.0       |

詳細は『取扱説明書』の「第 2 章 各部の名称、機能および仕様」を参照のこと。

作動・動作原理

スライダーを先端側へ動かすと先端部の把持部が開き、手元側に動かすと先端部の把持部が閉じる。目的の異物または切除された組織を開いた把持部内に捕そくすることにより把持し、回収する。FG-53SX-1 は六角部を把持して、挿入部を右に回すと把持部が右に回転する。

【使用目的又は効果】

使用目的

- 1.FG-40ST-1 は、当社指定の内視鏡と組み合わせて生殖器内の異物または切除した組織を回収することを目的としている。
- 2.FG-53SX-1 は、当社指定の内視鏡と組み合わせて消化器、呼吸器、泌尿器、生殖器内の異物または切除した組織を回収することを目的としている。

## 【使用方法等】

- 点検  
(1)初回の使用の前に【保守・点検に係る事項】に従って洗浄、滅菌する。  
(2)滅菌パックの点検、本製品の外観の点検、作動の点検をする。
- 内視鏡への挿入  
(1)スライダーを引き、把持部を閉じる。  
(2)内視鏡の鉗子栓に把持部を閉じた状態で、挿入部先端が内視鏡の視野内に入るまで挿入する。
- 異物、または切除された組織の把持  
(1)目的の異物または切除された組織を把持するため、内視鏡のアングルを操作し、本製品を必要な長さまで挿入する。  
(2)スライダーを押し把持部を開き、目的の異物または切除された組織を把持部に捕まえる。  
(3)スライダーを引き、目的の異物または切除された組織を把持する。
- 異物、または切除された組織の回収  
(1)異物や切除された組織を把持したまま、本製品を内視鏡ごと体外へ引き抜く。  
(2)スライダーを押し把持部を開く。  
(3)把持した異物または切除された組織を把持部からはずし回収する。
- 内視鏡からの引き抜き  
スライダーを引き把持部を閉じた状態で、内視鏡から本製品を引き抜く。
- 使用後の手入れ  
本製品の使用後は、【保守・点検に係る事項】に従って洗浄、滅菌する。
- 保管  
本製品を保管する際には、【保管方法及び有効期間等】に従って保管する。

## \*\*組み合わせて使用する医療機器

本製品と組み合わせて使用可能な医療機器は以下である。

FG-40ST-1

| モデル名   | 販売名                                      | 医療機器承認番号         |
|--------|------------------------------------------|------------------|
| HYF-1T | OES ヒステロファイバースコープ OLYMPUS<br>HYF TYPE 1T | 20200BZZ00739000 |

FG-53SX-1

| 当社  | 有効長    | 400mm 以下 |
|-----|--------|----------|
| 内視鏡 | チャンネル径 | Φ2.0mm   |

## 使用方法等に関連する使用上の注意

- 無理な力で異物や組織を把持すると、把持部が破損し把持部が体内に脱落するおそれがあるため、使用中は常に内視鏡画像を確認し、把持部に異常がないことを確認すること。
- 把持回収を行うことで、異物や組織が気管に脱落するおそれがあるため、把持回収に際しては十分に注意した処置方法を採用すること。

詳細は『取扱説明書』の「第3章 使用法」、「第4章 使用後の手入れ」、「第5章 保管」を参照のこと。

## 【使用上の注意】

### 重要な基本的注意

#### 一般的事項

- 本製品は出荷時には滅菌していない。初回の使用の前に、【保守・点検に係る事項】指示に従って洗浄、滅菌すること。
- 内視鏡の視野が確保されていない状態で、本製品を内視鏡に挿入しないこと。また、内視鏡の視野あるいは内視鏡の視野内に挿入部先端が確認できていない状態で、本製品の連続の操作を行わないこと。
- 本製品を内視鏡に挿入する際は、スライダーを動かないように保持し、急激な突き出しはしないこと。

- (4)抵抗が大きくて内視鏡への挿入が困難な場合は、無理なく挿入できるところまで内視鏡のアングルを戻すこと。
- (5)挿入部先端を内視鏡先端から突き出している状態で、急激な内視鏡のアングル操作をしないこと。また、急激にスライダーを押さないこと。
- (6)無理な力で挿入部先端を体内の組織に押し付けないこと。
- (7)本製品を内視鏡から勢いよく引き抜かないこと。
- (8)本製品を滅菌パックに入れる前に、必ず把持部を閉じること。

## 不具合

### その他の不具合

機器の破損・脱落、機能の低下

## 有害事象

### その他の有害事象

感染、組織の炎症、穿孔、大出血、粘膜損傷、皮膚の炎症

詳細は『取扱説明書』の「第3章 使用法」、「第4章 使用後の手入れ」、「第5章 保管」を参照のこと。

## 【保管方法及び有効期間等】

### 保管方法

使用後は本添付文書の【保守・点検に係る事項】の「洗浄、滅菌」に従い、洗浄、滅菌を行い、保管をすること。

## 耐用期間

- 本製品の耐用期間は製造出荷後（納品後）1年である。（自己認証（当社データ）による）
- 本製品は消耗品（修理不可能）である。『取扱説明書』に従って点検を実施し、異常があれば新品と交換すること。

詳細は『取扱説明書』の「第5章 保管」を参照のこと。

## 【保守・点検に係る事項】

### 洗浄、滅菌

- 毎症例後必ず洗浄、滅菌を行うこと。なお、手順及び条件は、『取扱説明書』「第4章 使用後の手入れ」の記載に従うこと。
- 『取扱説明書』に記載の、洗浄、滅菌に使用できる薬剤を使用すること。それ以外の薬剤については、オリンパスに問い合わせること。
- 長時間放置すると、本製品の表面に付着した汚物が乾燥して固まり、除去しにくくなるため、使用後は直ちに洗浄すること。
- 浸漬用の洗浄液、超音波洗浄用の洗浄液、潤滑剤、洗浄液浸漬用容器、超音波洗浄器、潤滑剤浸漬用容器、滅菌パック、オートクレープ装置を用意する。
- 購入後初回の手入れ時は、把持部から鉗子キャップをはずして廃棄する。
- 浸漬用洗浄液の『取扱説明書』にて指示された時間に従って浸漬する。
- 超音波洗浄器に入れた洗浄液に浸漬し、30分間超音波洗浄する。
- 水道水ですすぎ、外表面の水をふき取る。
- 潤滑剤に2～3秒浸漬し、外表面の潤滑剤をふき取る。
- 滅菌パックに封入し、オートクレープ装置にかける。
- 本添付文書および本製品の『取扱説明書』に記載している洗浄、滅菌方法では、クロイツフェルト・ヤコブ病の病因物質と言われているプリオンを消失または不活化することはできない。クロイツフェルト・ヤコブ病または変異型クロイツフェルト・ヤコブ病患者に本製品を使用する場合は、クロイツフェルト・ヤコブ病または変異型クロイツフェルト・ヤコブ病患者専用の機器として使用するか、使用後に適切な方法で廃棄すること。クロイツフェルト・ヤコブ病への対応方法は、種々のガイドラインに従うこと。なお、本製品は、種々のガイドラインで示されている、プリオンを消失または不活化する方法に対する耐久性がまったくない、あるいは、十分な耐久性がない。各方法に対する耐久性は、オリンパスに問い合わせること。

取扱説明書を必ずご参照ください。

#### **使用者による保守点検事項**

使用前に『取扱説明書』に従って点検すること。点検結果により必要であれば新品と交換すること。

詳細は『取扱説明書』の「第 4 章 使用後の手入れ」を参照のこと。

#### **\*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売元：

**オリンパスメディカルシステムズ株式会社**

〒192-8507 東京都八王子市石川町 2951

お問い合わせ先

TEL 0120-41-7149（内視鏡お客様相談センター）

**取扱説明書を必ずご参照ください。**